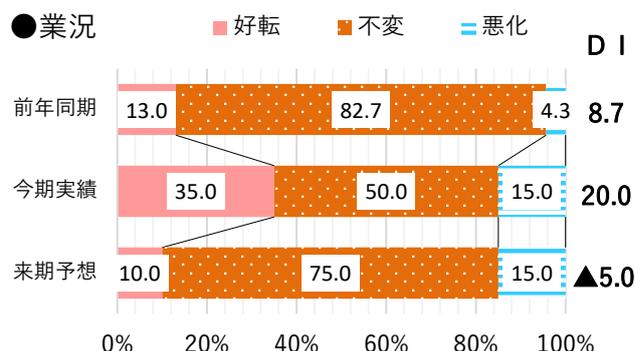


サービス業

業況、売上、採算

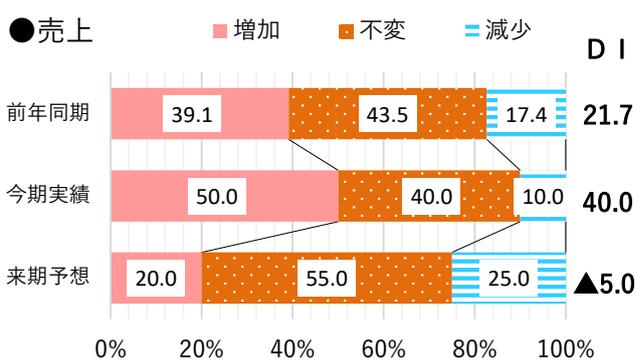
今期（2023.10～12）の業況判断DIは20.0で、前年同期(2022.10～12)と比べ11.3ポイント上昇しました。

来期（2024.1～3）は、業況がマイナスに転じると予想しています。



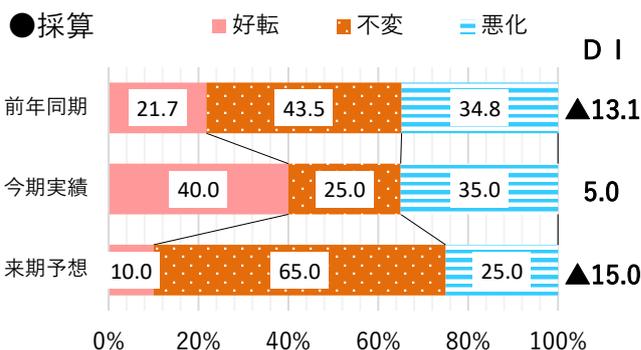
今期の売上高DIは40.0で、前年同期と比べ18.3ポイント上昇しました。

来期は、売上が大幅に減少し、マイナスに転じると予想しています。

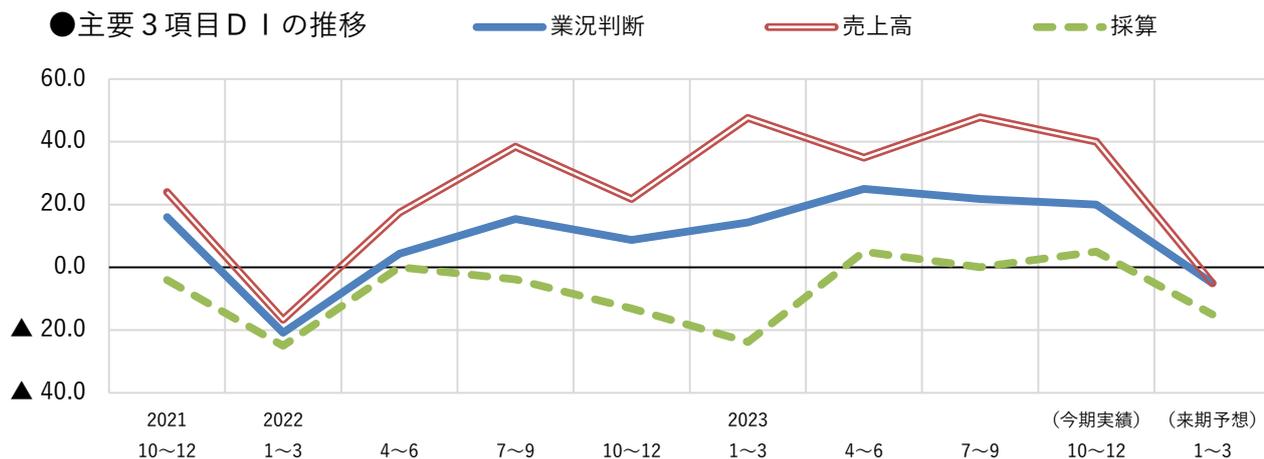


今期の採算DIは5.0で、前年同期と比べ18.1ポイント上昇し、プラスに転じました。

来期は、採算がマイナスに転じると予想しています。



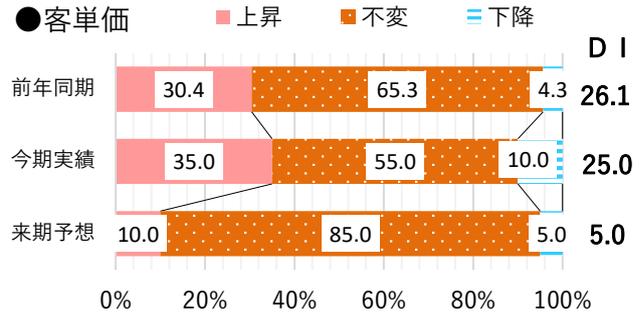
●主要3項目DIの推移



客単価、利用客数、仕入単価

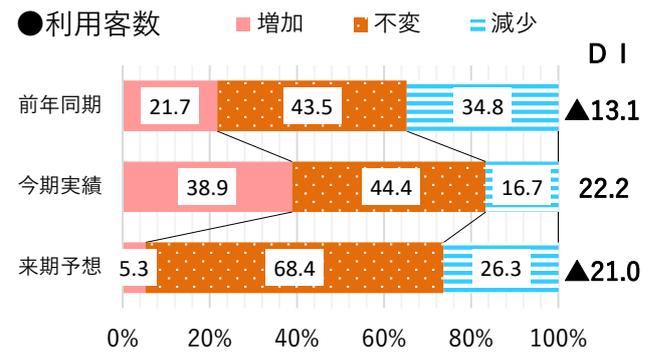
今期の客単価DIは25.0で、前年同期と比べ1.1ポイント低下しました。

来期は、客単価の上昇傾向が弱まると予想しています。



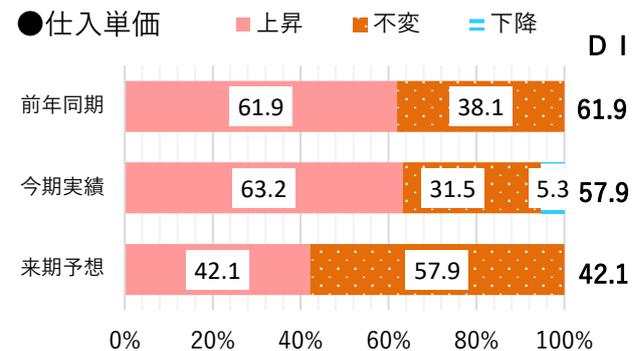
今期の利用客数DIは22.2で、前年同期と比べ35.3ポイントと大幅に上昇し、プラスに転じました。

来期は、利用客数が大幅に減少し、マイナスに転じると予想しています。



今期の仕入単価DIは57.9で、前年同期と比べ4.0ポイント低下しました。

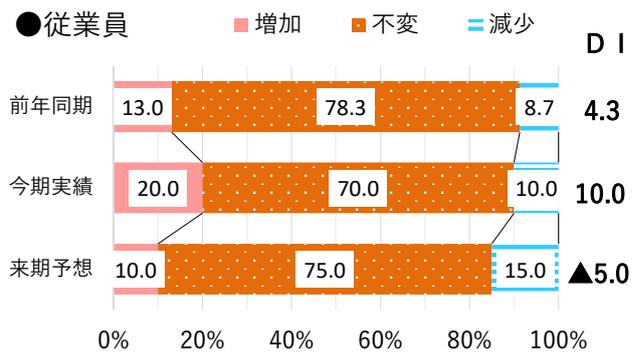
来期は、仕入単価の上昇傾向が弱まると予想しています。



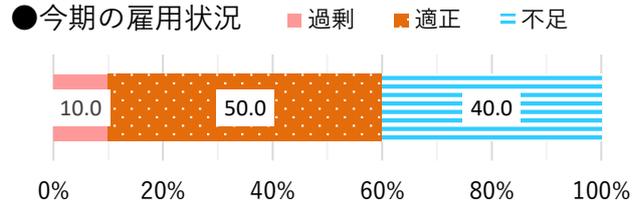
従業員、今期の雇用状況

今期の従業員数DIは10.0で、前年同期と比べ5.7ポイント上昇しました。

来期は、従業員数がマイナスに転じると予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業の割合は10.0%、適正であると回答した企業の割合は50.0%、不足していると回答した企業の割合は40.0%でした。



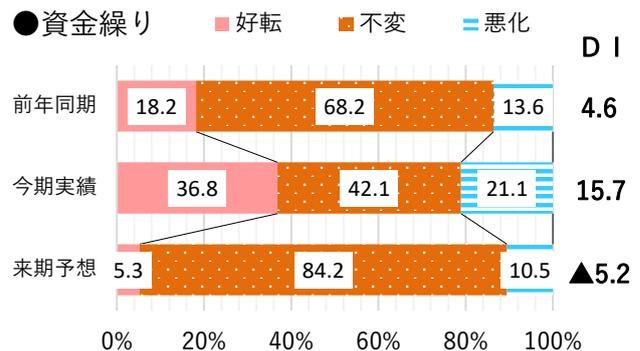
従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、充足している」という回答で、50.0%を占めました。回答全体では40.0%の企業で従業員が不足しています。

今期従業員数	今期の雇用状況	回答数
増加した	過剰	2
	適正	0
	不足	2
不変だった	過剰	0
	適正	10
	不足	4
減少した	過剰	0
	適正	0
	不足	2

資金繰り、設備投資

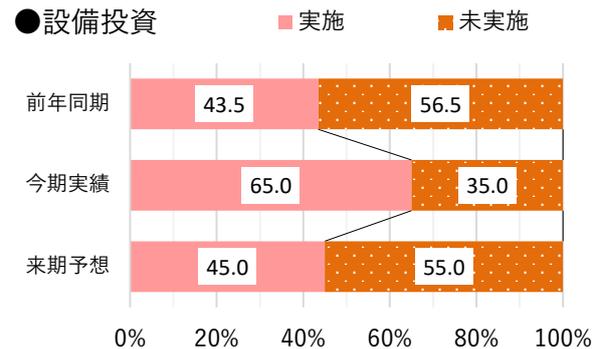
今期の資金繰りDIは15.7で、前年同期と比べ11.1ポイント上昇しました。

来期は、資金繰りがマイナスに転じると予想しています。



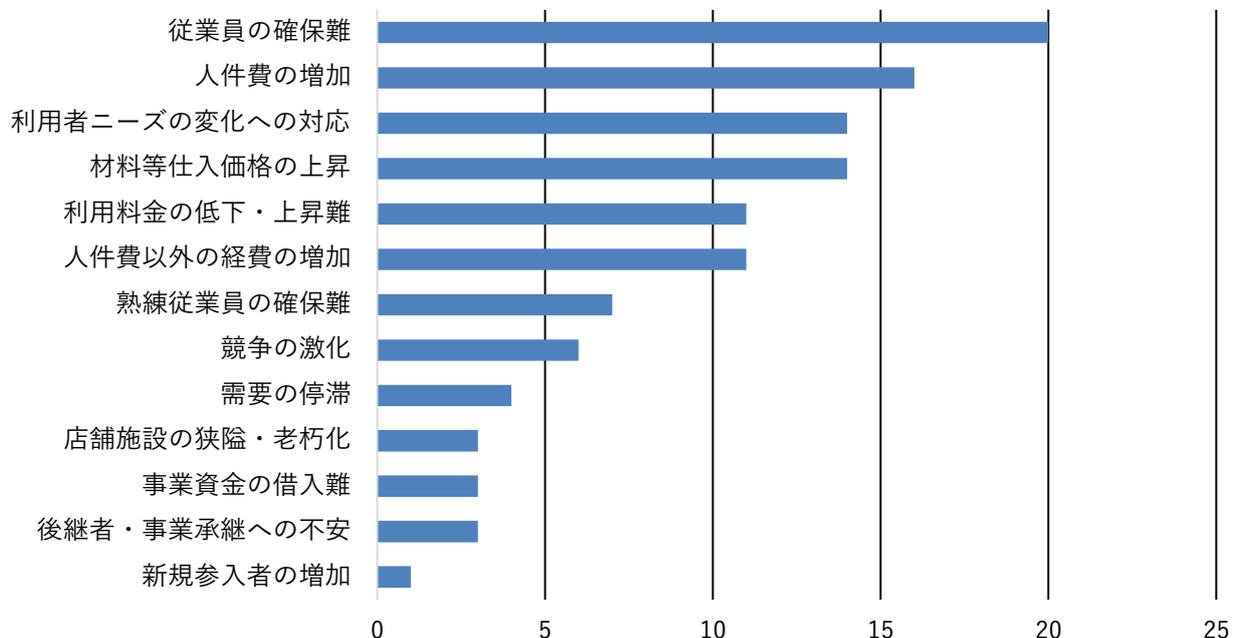
設備投資を実施した企業の割合は65.0%で、前年同期と比べ21.5%増加しました。投資内容は、1位が「車両運搬具」、2位が「その他」の順です。

来期に設備投資を計画している企業の割合は45.0%で、減少を予想しています。



経営上の問題点

今期直面している経営上の問題点は、1位が「従業員の確保難」、2位が「人件費の増加」、3位が「利用者ニーズの変化への対応」、「材料等仕入価格の上昇」（同位）の順です。



企業の声

[今期の業況について]

- 売上は前年よりアップしているが、仕入価格の上昇により利益率は前年並だった。（飲食店）
- インバウンドは増加したが、地元客の利用や単価の減少が続いている。（飲食店）
- プレミアム商品券の使用時期に合わせて料金を大幅に改定したが、引き上げに対する抵抗は少なかった。必然的に客単価が上昇し、業況や資金繰りが改善した。利用客数も増え、単価引き上げは成功だったと感じている。仕入価格は春～夏にかけて上昇したが、今は落ち着いている。賃金も引き上げた。（美容業）
- 客数の確保と取扱商品の増加により、前期実績を上回る結果となった。（不動産代理・仲介業）
- 業務の受注件数が増加した。（ビルメンテナンス）
- デジタル社会において、利用客が減少している。仕入材料の値上げ等厳しい状況だ。（写真業）
- 札幌支店を買い入れたため、売上が増加した。同時に社員、パートを増強した。（保険業）
- 人員過多により、人件費がかかりすぎてしまった。（情報処理・提供サービス業）
- 最低賃金は1,050円/時を支給している。入院時のセットレンタル業務、B to C 関連業務の拡張、出先機関での請負業務で受注が増加した。（各種物品賃貸業）

[来期の業況について]

- 冬場は観光客が減少する。売上は前年並みになると思われる。（飲食店）
- 1～2月は1年の中でも最も落ち着いた時期なので、今期の実績を上回ることはないと思う。そのため、顧客の満足度を上げるための準備期間となる。最近は材料費の高騰より、商品の生産停止や廃番が多く、時代の変化を感じている。（美容業）
- 今期同様の事業展開を予定しているため、同程度の業績を見込む。（不動産代理・仲介業）
- 受注の減少と人件費の増加を見込む。（ビルメンテナンス）

- 1～2月は閑散期なので、3月でどの程度挽回できるかにかかっている。（写真業）
- 売上の微増を見込む。（保険業）
- 人員整理を中心に経費を削減し、キャッシュフローの改善を見込む。（情報処理・提供サービス業）
- 最低賃金はベースで1,100円/時を予定している。札幌に事業所を設置し、職員の採用を図る。外国人労働者採用の検討を進める。（各種物品賃貸業）